



備蓄と活魚鮮度配送で
水産流通の未来を切り開く!

Marine Next

マリネクスト株式会社



備蓄と活魚鮮度配送で 水産流通の未来を切り開く！

三原に根差した水産荷受として、時化の多い瀬戸近海魚の効率的な集荷と、備蓄による需給管理により、安定的な価格を生産者に還元出来る仕組みを構築するとともに、近海魚を遠隔地のお客様に楽しんで頂ける新たなルートの確立を目指します。

元気に備蓄、最高鮮度

世界的な魚需要の増加に伴い、現在国内は品不足による価格高騰が慢性化しつつあります。集荷力を高める為にも、天然活魚を備蓄し、加工では得られにくい付加価値を、活魚を活性化させることより最高鮮度の商品として差別化を図って参ります。

将来の地域拠点型荷受け構造に照準を合わせ、加工のみならず、集荷というセグメントの確立を目指しております。

当社が目指す安定供給

現在広島県とコンソーシアム事業として推進している【低塩飼育水】（塩分濃度を下げた海水）を活用した備蓄で、漁獲された魚を健康的に備蓄することを目的にテストを続けております。また、CO₂麻酔による活魚の効率配送で、日本全国必要時に産地に関わらず活魚を調達できる体制作りも併せて構築中です。時化の多い瀬戸内海の産地活性化と、安定供給に繋がる事業として、確立して参る所存です。

- 毎日出荷を可能とします
天候や時化に関わらず、当日発注可能な体制とします
- 一年を通して備蓄できる
海面、陸上共に備蓄が可能な体制とします
- 速やかに出荷できる
お客様のニーズに応えられるよう安定供給できる体制をとるように参ります
- 品質管理を徹底できる
魚種別に熟練の目利きが魚の管理を行います

沿革

2018年9月 株式会社クラハシより100%出資を受け設立登記
当事業は、前身となるエイシン水産株式会社様より2018年8月31日に、不動産を含めた事業を譲り受け致しました。エイシン水産様が長年に亘り維持運営された良質な事業と、大切にされた産地、お客様を引継がせて頂き、クラハシグループとして新たな一歩を踏み出して参ります。

企業概要

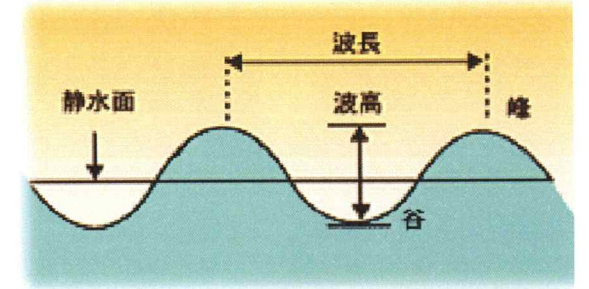
会社名 マリンネクスト株式会社
所在地 〒729-0324
広島県三原市糸崎9丁目4-1
TEL 0848-68-1755
FAX 0848-68-1756
設立 2018年9月3日
資本金 100万円（株式会社クラハシ
100%出資会社）
代表者 代表取締役 天野文男
役員 取締役 森岡尚道
齋藤 稔
監査役 倉橋彩子
従業員数 11人（役員を除く）



何故備蓄が大切なのか

1. 時化が多く月平均1/3が稼働せず 一斉に漁に出る＝“豊漁”＝価格低下！

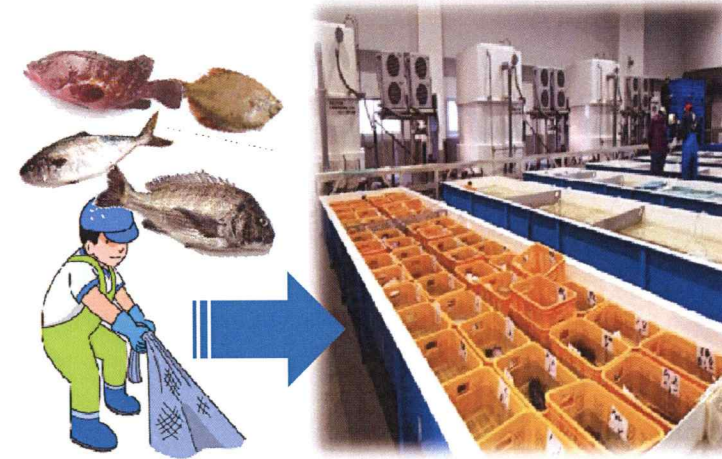
波の予報が1mですと日本海は凪なので出れますが、瀬戸内海は大時化で漁が出来ません。瀬戸内海は波と波の間が狭いため、波を越えて舳先が下を向いた時には次の波が来てしまう為です。その為、漁がある時は一斉に出港する為【豊漁＝価格低下】となります。
安定的な漁獲が大変重要であることがわかります。



瀬戸内海は、波と波の間（波長）が短いので次の波が来る前に体制を整えられないのです。

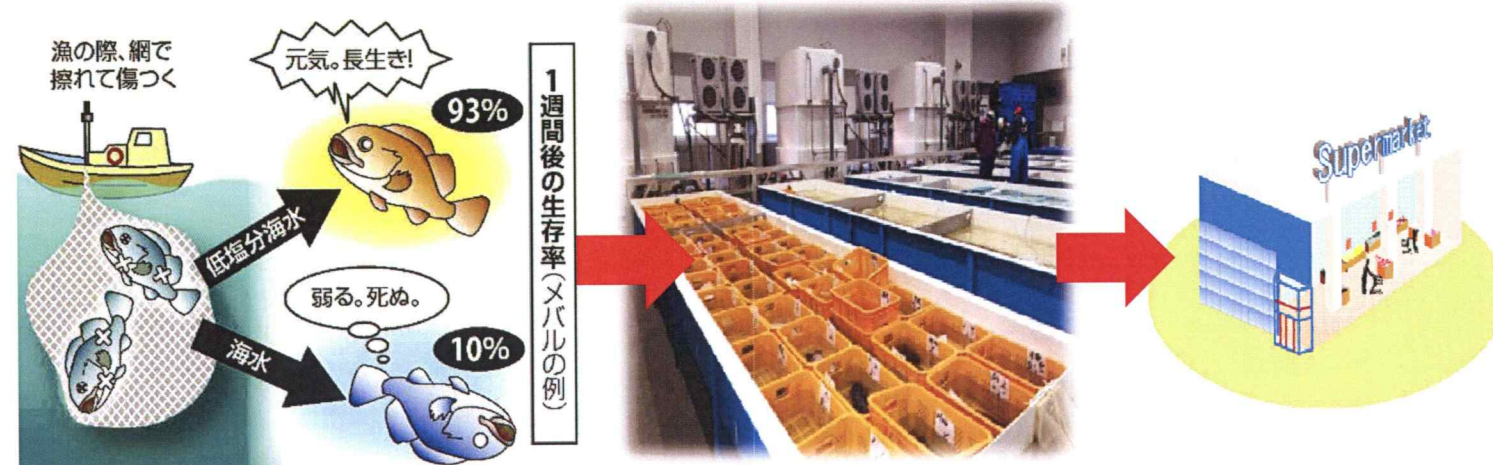
2. 安定供給を実現する！

- 毎日出荷を可能とします
天候や時化に関わらず、当日発注可能な体制
- 一年を通して備蓄できる
海面、陸上共に備蓄が可能な体制
- 速やかに出荷できる
できるだけ数多くの魚種を大量に入荷する事により、お客様のニーズに応えられるよう安定供給できる態勢をとるようにしていきます
- 品質管理を徹底できる
魚種別に熟練の目利きが魚の管理を行います



3. 漁獲後元気に長生きする魔法の水

低塩分飼育で活魚を健康な状態に備蓄（出荷調整）する事により、販売チャネルを増やすことが出来ます。広島県の水産海洋技術センターの技術開発により、水揚げされた海水魚を塩分濃度の低い海水で一定期間泳がせることで、傷が回復し、長く生かし続けられる。大量に漁獲され、値崩れが想定される際に出荷調整が出来るだけでなく、販売先チャネルの拡大に繋げることが期待できる。



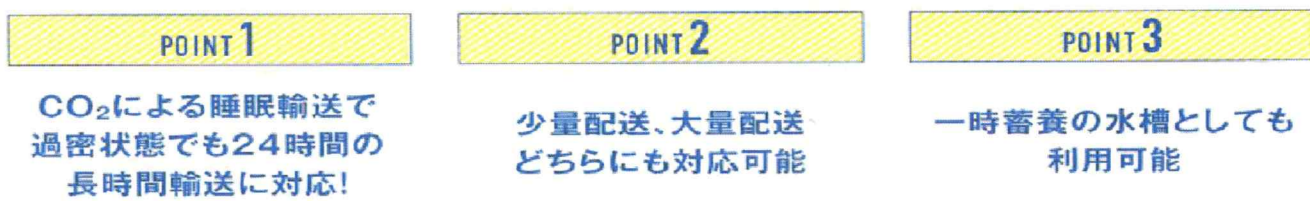
Marine Next



麻酔をかけて効率配送



お魚を眠らせて運ぶ！？ 実際に運送実験開始



魚を眠らせることにより、小型でありながら収容密度25%以上の過密・24時間の長時間輸送を行えます。もちろん少量、近距離の場合はCO₂を使わずそのままの輸送が可能です。

バッテリー、エアレーション機能等搭載のため1台から輸送が可能です。水量を調整すれば2t車から運ぶことが出来ます。水槽1台で魚の収容量約300kgです。また大型車両に8台積載すれば、大型活魚車と同等の量を輸送できます。

AC100Vコンセントも付属しているため、積み込み前のバッテリー消費節約だけでなく、蓄養槽として常時装置を移動させることも可能です。



Marine Next

瀬戸近海魚のブランド化と、効率的販売による産地活性化支援 近海魚「備蓄」と「画期的配送手法」で時間と距離の限界を超える【高付加価値】 事業を構築



設備概要

